

「あかつき」とリレー出荷できる食味良好な中生種 「モモ福島18号」の育成

福島県農業総合センター 果樹研究所 栽培科

1 部門名

果樹-モモ-育種・選抜

2 担当者名

高橋堯之、安達義輝、吉田小夏

3 要旨

本県のモモの生産振興と経営の安定を図るためには「あかつき」に偏重した品種構成の改善が必要である。また、近年の気候変動に伴う気温の上昇等により「あかつき」の出荷時期が前進傾向にあり8月上旬に安定出荷できる品種の開発が求められている。そこで、品質良好なモモ中生品種「モモ福島18号」を育成した。

- 「モモ福島18号」の収穫盛期（2019～2021平均）は8月8日で「あかつき」より13日遅く、「まどか」より1日早い、8月上旬に出荷できる系統である。開花期は4月9日で「あかつき」および「まどか」とほぼ同時期であった。
- 直近3カ年における平均果重は362g、平均糖度は14.2° Brix、pHは4.8である。果形は円～扁円形、果皮着色は良好、果肉は白色で緻密、核周辺にわずかに紅色素が入り、年により軽微なミツ症が見られる。また、核縫合面の割裂は「あかつき」、「まどか」と比較し少ない傾向にある。



図1 「モモ福島18号」

表1 「モモ福島18号」の生育と果実品質（2019年～2021年平均）

系統・品種	開花期		収穫期		果実重 (g)	糖度 (° Brix)	pH	硬度 (kg)
	盛期	始期	盛期	始期				
モモ福島18号	4月9日	8月2日	8月8日		362	14.2	4.8	2.0
あかつき	4月10日	7月24日	7月26日		278	13.4	4.4	2.2
まどか	4月11日	8月5日	8月9日		403	14.8	4.5	2.3

4 成果を得た課題名

- 研究期間 令和3年度
- 研究課題名 個性豊かな県オリジナル果樹品種の育成

5 主な参考文献・資料

なし